

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2018年度日本陸連競技規則並びに本大会の競技注意事項により行う。
2. 選手の受付は、各種目の記載された召集時刻に各自受付をし、その場から離れずに係の指示に従うこと。受付は、ゴール前方の倉庫内で行います。
※受付終了時刻は、競技開始時刻のトラック競技は15分前、フィールド競技は20分前です。
※受付の時、トラック競技の出場者は、腰ナンバーカードを受け取り、右腰に付けること。
3. 受付終了時刻に遅れた者は、原則として棄権とみなす。(棄権の場合も申し出ること)
4. 同時刻に2種目の競技をする者は、その旨を必ず競技者係に申し出ること。
その場合は、トラック競技を優先とする。
5. 出場者以外の受付所への立ち入り、及び代理人による受付は、認めない。ただし、他の種目に出場しているなど、特別な事由がある場合は、代理人を認める。その場合は、必ず競技者係に申し出ること。
6. 選手は、その競技をする以外はトラック及びフィールド内に立ち入ることはできない。
7. ナンバーカードは、ユニフォームの胸・背部に付ける。
8. 決勝の組み合わせ及びレーンは、主催者において公平に抽選し、その結果を選手受付所において知らせる。
9. スターティングブロックの使用は3年生以上で、自力で「着脱」できる者とする。スターティングブロックを使用しない場合は、出発係にその旨を伝え、スターティングブロックを撤去してもらうこと。
10. 100m、80mH、リレーのスタートは、クラウチングスタートとする。
1～2年60mのスタートは、スタンディングスタートでもよい。
11. スタートについては、同じ競技者が2回の不正スタートをしたときに、その競技者を失格とする。
12. リレーのオーダーは、その競技召集終了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。
オーダー用紙は、競技者係(選手受付所)に置いてあるので受け取ること。
13. リレーについては、ルール改正に伴いテイクオーバーゾーンは30mとする。
14. トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラムに記載されたとおりとする。
15. 80mHは、ハードルの高さ70cm、スタートから第1ハードルまで13m、インターバル7m、最終ハードルからフィニッシュまで11mとする。
16. 走幅跳で砂場に入らない跳躍は計測しない。
17. 走高跳(はさみ跳び)でのマットへの着地は、必ず足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技とする。
18. 走高跳におけるバーの上げ方は、次のとおりとする。
男子 1m00cm 女子 90cm
※バーの高さは5cmずつ上げ、選手が1人になった時は希望による。
19. 砲丸の重さは、男女共に2.721kgとする。
20. ジャベリックボール投は、全道大会に準じ3投のみとし、ベスト8の試技は行わない。助走距離は15m以内とする。
21. 砲丸投とジャベリックボール投の競技では、競技場備え付けのものを使用する。
ただし、朝の練習時等には貸し出さないの、各自、用意すること。
22. 競技場はトラック、フィールドともに全天候型ウレタンと舗装のため、スパイクピンは全天候用で、長さは9mm以下を使用すること。
23. 抗議申し立ては、チーム及び学校の責任者が、記録発表後30分以内に行う。
24. 選手は、スポーツマンらしい態度で競技に臨むこと。
25. 表彰状は、決勝種目終了後、チーム及び学校ごとにまとめておくので、8位までの入賞者は、本部席で受け取ること。
26. 全道大会出場(参加)資格については、下記のとおりとする。
※平成30年度の大会で標準記録を突破している場合も出場可能。
(3年) 100m・800m : 本大会3位までの者
(3年) ジャベリックボール投 : 本大会2位までの者
(4～6年) トラック種目(個人) : 本大会3位までと標準記録突破者
(4～6年) フィールド及びリレー : 本大会2位までと標準記録突破者及びチーム
27. 全道大会申し込みは、大会当日にオホーツク陸協(宍戸 政彦)に申し込むこと。大会出場決定次第、順次、申込みを受け付けますので、本部までお越しください。
本部にはパソコンを用意していますので16:00まで受け付けます。
参加料は、当日、現金のみでの支払いとしますので、事前にご用意ください。
28. ナンバーカードは、団体申込をしている場合は、各自保管・管理をし、競技会ごとに持参すること。